

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立飛騨神岡高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年5月23日(月) 14:05～15:30
- 3 開催場所 飛騨神岡高等学校ゼミナール室
- 4 参加者

| | | |
|--------|-------|--|
| 会 長 | 川上 佳洋 | NPO法人宇宙まるごと創生塾 飛騨アカデミー代表 |
| 副会長 | 植田 要助 | 神岡商工会議所専務理事 |
| 委 員 | 山田ゆかり | 総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人 飛騨シューレ (欠席) |
| | 田中 智枝 | 田中料理教室 |
| | 田口由加子 | NPO法人神岡・まちづくりネットワーク レールマウンテンバイク事務局 (欠席) |
| | 帰家 圭吾 | 有限会社 かんや代表 |
| | 長原 学 | 育友会会長 |
| | 島田 紀子 | 東洋建材資材 |
| オブザーバー | 都竹 淳也 | 飛騨市長 (欠席) |
| | 布俣 正也 | 岐阜県議会議員 (欠席) |
| 学 校 側 | 近藤 和彦 | 校長 |
| | 藤守 学 | 教頭 |
| | 森下 学 | 事務長 |
| | 松本 正人 | 教務主任 |
| | 一ノ瀬伸郎 | 生徒指導主事 |
| | 楯 幸司 | 進路指導主事 |
| | 中村 英樹 | 教務部特別活動担当 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 会長・副会長の承認

会 長 川上 佳洋

副会長 植田 要助

※ 全委員より承認が得られた。

(2) 挨拶 校長 近藤 和彦

(3) 協議事項

① 学校説明

- ・卒業生アンケート
 - ・入学動機調査
 - ・各分掌等からの説明
- ※ 全委員より承認が得られた。

② 学校運営の基本方針等について

- ・学校の組織編制（運営機構）
 - ・教育指導の重点及び学校経営計画
 - ・教科指導の重点等
 - ・令和4年度在籍生徒の出身中学校
 - ・令和4年度入学生教育課程
- ※ 全委員より承認が得られた。

(4) 協議・意見交換

学校説明について

- 意見1 昨年度の学校運営協議会においても、生徒心得の改正について意見を出した。今後も生徒会で出た意見なども踏まえて協議・検討し、よりよいものにしていけるとよい。
- 意見2 飛騨地区への就職者が増えている一方で、公立大学への合格者も出ている。一人一人の進路実現ができる指導は素晴らしい。
- 意見3 部活動においても、生徒数が少ないなかで多くの実績を上げている。部活動に関して中学校との連携が少ないのが課題である。
- 意見4 卒業生アンケート結果で、ほとんどの生徒が高校生活について満足していると回答している。この結果は素晴らしいので連携中学校にもPRしてほしい。

学校運営の基本方針等について

- 意見1 ICT機器の導入には目を見張るものがあり、学習効果にも予想以上の成果がある。昨今のコロナ禍におけるオンライン授業はハード、ソフト両面で定着化したと感じる。今後、オンライン授業は日常化すると思われるので教員も意識改革に取り組む必要があるのではないか。
- 意見2 中高一貫教育の連携中学校から本校への入学者が連携中学校卒業生数全体の半数以下である。再度、連携中学校へ本校の教育活動や生徒・保護者から本校への高い評価をPRし、その上で神岡町以外の中学校へも同様のことを周知して、一人でも入学者が増えることを期待する。
- 意見3 「地域と共に育てる」ことや中高一貫教育に力を入れることは今後の生徒の人生に大きな影響を及ぼすので、地域の大人ができる限り生徒に関わり地域の魅力や歴史、文化を伝えることが重要である。

6 会議のまとめ

- ・学校側が提案した学校運営の基本方針等について、全委員より承認が得られた。
- ・入学生が一人でも増えるよう本校の魅力を発信する広報活動を充実させる必要がある。
- ・コミュニティ・スクールとして「高原郷になくてはならない」魅力ある学校づくりをさらに推進するために、本協議会の意見を真摯に受け止め、対応していきたい。